

もちつき大会を授業にしよう 美浜打瀬小 4 年生



美浜打瀬小では 4 年生が毎年 1 月にコア中庭で行われる地域のイベント「もちつき大会」(青少年育成委員会主催)に参加する授業を行っています。その授業が今年は 3 年目となり、もちつきの運営を子どもたちがお手伝いするという行動型の授業に変化してきました。地域で大人が主催するイベントを子どもが授業でサポートし地域貢献をするというちょっとユニークな学習。その様子取材しました。【松村】

昨年 12 月 9 日。美浜打瀬小でサuntime (休み時間) に 4 年生 8 人が「もちつき大会実行委員会」を開いていました。クラスで立候補して決まった委員たちです。

ベイタウンの小学校では 3、4 年生が社会科で地域のことを調べる「調べ学習」が盛んです。昨年まではその授業の成果をもちつきの会場で発表していましたが、今年は少し踏み込んで、自分たちでもちつき大

会のために何かしたいということになり、委員会で考えることになったのです。

この日の委員会の目的はズバリ「どうしてももちつき大会に多くの人に来てくれるか」、「どんなことをしたら、当日会場にいる人が楽しめるか」を決めること。CM (なんとプロモーションビデオの制作)、ポスター、かんばんをつくるなど具体的な提案が出ました。この会議で決めたことが翌日



4 年生全員に伝えられ、その日から社会科の授業でグループに分かれて 1 月のもちつき大会に向けて準備をはじめました。役割を決めてグループごとに作業します。当日みんなが楽しめるようにと考えた「昔遊び」「紙芝居」「ごみ回収」「かけ声」の係を決め、マスコット(着ぐるみ)を作って会場内を回る、くじを作る、クイズをするなどのための作業もはじまりました。12 月の間 4 年生たちは、ほぼ毎日社会科や総合的な学習の時間を使って準備をしました。

ポスターをついたり、昔の遊びを調べたりすることは今までも授業で行っていましたが、今回は自分たちでやったことがそのまま「ベイタウンのもちつき大会」を盛り上げることに繋がります。いわば成果がはっきりと目に見える形で出るので子どもたちは真剣です。どうしたらみんなが見てくれるか、ポスターの描き方ひとつについても新しいアイデアが次々にうまれます。

もちつきの準備は年が開けて 1 月になっても続きました。冬休みが終わってももちつき大会の 9 日まで、当日の受け持ちを確認し、活動の計画を立てました。最後の 2 日間は 4 年生全員がグループごとに早朝の始業前の約 10 分間各学年の昇降口に立ち、できあがったばかりのマスコット(段ボール製の着ぐるみ)を中心に、「もちつき大会に来てください」と声をかけていました。もう 4 年生の間ではもちつき大会は自分たちの行事になっていたようです。

こんなユニークで楽しい授業ができたのは美浜打瀬小の先生方が地域とのかかわりを授業に活かせないかといつも考えてきたから。取材のたびに 4 年生の先生から見せていただくメモやプリントからはそんな熱意が伝わってきました。

もちつき大会の当日は土曜日なので学校は休日になります。つまり授業ではないのでボランティア活動です。しかし子どもたちは時間帯を決めて「交代制」で出勤。それぞれの仕事をこなすのに一生懸命でした。「自分たちも遊べる時間を取れるように、来年の 4 年生に伝えたい」とはあるプラカードを持って立っていた女子の言葉。揃いのユニフォームを着て活動する子どもたちの顔からは、自分たちが地域のために役に立っているという満足感と自信が感じられました。

会場で大会を主催する青少年育成委員会の西村会長に、「子どもが押しつけで手伝ってくれて、邪魔にはならないの?」と、ちょっと意地悪な質問をしてみました。「とんでもない。子どもたちのお手伝いは立派な『戦力』です。これがなかったらもちつき大会は成功しませんでした」と叱られました。この言葉そのまま子どもたちに贈ります。

なでしこジャパン 熊谷選手がやってきた

先月号で、若葉地区のゾゾパークのプレオープンを紹介しましたが、本田圭佑選手によるイベントの翌日12月26日にも特別イベントが開催されたので取材しました。なでしこジャパンの選手で現在フランスの「オリンピックリヨン」というチームで活躍中の熊谷紗希選手がメインコーチとして参加する、女子小学生を対象にしたサッカークリニックです。【小原】

当日の天気は快晴で風もなく、絶好のコンディションでした。午後1時、サッカー少女66人が緊張の面持ちでグラウンドに集合し、イベントの始まりです。最初にコーチ陣が紹介されましたが、熊谷選手が登場すると、元気のある大きな声で子どもたちにあいさつし、語りかけます。存在感があり、世界で活躍する選手はちがうなあ、と思いました。

実際に練習が始まりました。最初はウォームアップで遊びのような動きからですが、次にグループで競い合ったり、実戦的にゴールを交えた動きの練習など、変化に富んだ内容でした。子どもたちも時間が経つにつれて緊張感もほぐれ、うっすらとかいた汗をぬぐう表情は楽しくてならないといった感じ。最初は小さかった声も、コーチのはきはきた声に促され、気持ちの解放感とともに賑やかな歓声となり、グラウンドに響くようになったのも印象的でした。

プログラムの最後には、全体写真と一人一人にサインのプレゼント。子どもたちにはとてもいい経験と刺激になったようです。

ベイトウンから参加した人はいませんかとか声をかけたところ、手を上げてくれたの

が美浜打瀬小学校6年の松代光瑠さんと海浜打瀬小学校5年の中川亜美さんです。2人とも磯辺FCの女子チーム所属で、一緒に参加したそうです。感想と夢を聞きました。

松代さんは、「今日は楽しかった。熊谷選手のロングキックがすごかったです。サインを（サッカーウエアの）背中に書いてもらいました。夢はなでしこです」と、はにかみながら答えてくれました。小学校3年からずっとサッカーをしているそうです。

昨年7月にサッカーを始めたばかりという中川さんは「チームに分かれてどう動けば点を入れられるかという練習や、パスをひとつのところに蹴る練習が大変でした。夢はなでしこです」とサインしてもらったボールを大切に抱えて答えてくれました。

さあ、夢はなでしこ。現役ばりばりの熊谷選手に出会ったことは大きな刺激だったと思います。「この中から一人でも自分と一緒にプレイする選手が出てくることを期待しています」という力強い言葉が熊谷選手

の締めくくりのメッセージでした。ちなみに女子対象の「なでしこクラス」が4月から開かれるということです。

数年後活躍する2人をインタビューするのは、またこのおばちゃん記者がします。その時を楽しみにしています。



写真左から中川さん、松代さん。しっかり練習して暖まったあとなので少し寒そうでしたが、元気いっぱいインタビューに答えてくれました。



幕張海浜公園 D・Eブロック整備で JFA がワークショップ開催

先月号で県立幕張海浜公園のD・Eブロックに建設予定のJFAの仮称「JFA ナショナルフットボールセンター」（以下、フットボールセンター）についてお知らせしましたが、さっそく関連団体（幕張ベイトウン協議会、青少年育成委員会、打瀬地区スポーツ振興会、他）を集めて、地域住民とのワークショップが開催されました。これは、前回会合で住民側から出た「十分に意見を反映する場を」という要望に応じて開催されたものです。

ワークショップは、1/10(日)、1/17(日)の2回に分けて開催され、千葉県都市整備局公園緑地課、日本サッカー協会(JFA)、今回のプロジェクトでJFAのコンサルタントとして入っている山下PMコンサルタントの方々と、住民30名ほどで「一緒に作業する」形で進められました。2回を通して、現在候補地となっているD・Eブロックをどう使っているか、今後どういう使い方をしたいか、フットボールセンターに何を望むか、などを参加者各自が3つのグループに分かれて思い思いに語り、それをグループ毎に発表しました。議論の中では、単に「フットボールセンターをど

うするか？」という視点だけではなく、これまで色々仕掛けをしてきたのに、活性化が進まなかったD・Eブロックをどう活性化するか、さらにD・Eブロックの浜側の松林や砂浜をどう安全に住民憩いの場にするかという視点で、活発な意見が交わされました（記者注：松林や砂浜は、今回のフットボールセンターの候補敷地には含まれていませんが、千葉県に対して「トータルで考えて欲しい」との思いから、そのような声が多く出ました）。

記者自身は知らなかったのですが、現在は散歩やランニング、花火大会やエアレースなどのイベントの他に、インラインスケートやラジコンなど、A・B・Cブロックや普通の公園ではやりにくく、敬遠されがちなアクティビティに利用されることが多いとのこと。また、今後の要望としては、「スポーツ」「憩う」「自然に親しむ」など、多目的に活用できる場への期待の声が多く出されました。「QVC マリンフィールドとJFA施設を融合すると付加価値が生まれるのではないか?」「浜と富士山の景観という幕張ならではの条件を活かす施設を考えて」といった声や、「住民要望を

重視するあまり、『日本代表のための施設』という本来の目的を忘れて、選手に不便が生じないように」という、JFAの方すらハツとさせられる貴重な意見もありました。

JFAでは、今回のワークショップで出された意見も踏まえて、ある程度の方向性が出たところで、住民であれば誰でも参加できるようなオープンな場を設けて、説明・意見交換したい、とのことでした。今後も進展がありましたら、逐次お知らせします。【板東】



打瀬 3 小学校対抗の球技大会 ～女子バスケット～

「1 月末にベイタウン 3 小学校対抗の球技大会があり、各校で練習に励んでいる」そんな話を耳にして、学校対抗とは面白そうだと興味を湧きました。種目は男子がサッカー、女子はバスケット。対象学年は 6 年生で、千葉市の球技大会として市内近隣校同士で開催される行事の一環だそう。選手はこの大会のために各校で募集され、11 月下旬頃から朝の始業前等に集まり練習してきました。

1/26 (火) の本番を前に練習試合が開催されるとのことで、1/15 (金) 海浜打瀬小アリーナにて行われた海浜打瀬小と打瀬小の練習試合を取材してきました。【斎田】



真冬の寒さの放課後、底冷えするアリーナに足を踏み入ると、両校それぞれの選手達が見事に揃ったかけ声を響かせながら、ランニングやパス練習し、ウォーミングアップをしています。それはまるで中学生の部活動さながらで、想像もしていなかった熱い雰囲気には驚きました。引き締まった緊張感と選手の真剣さが伝わってきます。

もっとのんびりした様子を勝手にイメージしていたことをやや申し訳なく思い、少

し圧倒されて様子を見守りました。

アップが終わり、指導担当の先生から「しっかり声を出して」「相手を見てパスしよう」といった具体的なことから、「お互いの良いところを見つけられるように」といったアドバイスがありました。聞く姿勢も返事も、皆キビキビしていて、うーん本当に部活みたい。最高学年ってこんな感じかと、日ごろまだ幼稚園児や小 1 ばかり見ていた記者は感心しきりでした。

この日の練習試合は、一試合 5 分間。打瀬小は参加者約 40 人、計 8 チーム、海浜打瀬小は約 60 人の 12 チーム。1 時間にわたり全チームが 1 試合はできるよう次々と対戦していきます。大会本番は全員が出場できる訳ではないそうですが、それぞれが目標をもち、練習に励んでいることが伝わってきます。

応援も、両校とも一体感があり、積極的に声を出しています。どの試合も白熱していて、一生懸命に応援している選手の間で見ていくうちに、ぼんやりとですが思い出してきたのです。やはり小学校高学年の頃、

体育の授業でバスケットがあったこと、お互いに仲が良くても、試合となるとものすごい闘志むき出しの女子バスケットだったことを。

今、目の前で繰り広げられているのも、やはり女子の熱い戦いです。気が付くと、アリーナの 2 階部分や、窓の外からも大勢の下学年児童や保護者が声援を送っています。練習試合とは思えないくらいの大盛況な応援でした。

隣で仲間に応援を送る打瀬小の選手に聞いてみました。「どうして参加しようと思ったの?」「友達と一緒にしようって決めて、楽しそうだから」「朝練も早起きで大変じゃない?」「すぐお腹ぺこぺこです!でもみんなでやるのが、楽しいです」素直な笑顔で語ってくれました。

考えてみると、6 年生にとっては卒業式も近づくこの時期。卒業までの掛け替えのない時間を、球技大会という一つの目標を通じて友情を深め、団結心や達成感を分かち合える貴重な機会なのかもしれませんね。もちろん学校対抗で愛校心も一層強くなるのでしょう。勝敗がつく大会ではあるけれど、子ども達ひとりひとりが輝けますように。皆さん練習した成果が出せるように、そして仲間と楽しんで、頑張ってください!

3 小学校対抗球技大会

打瀬 3 小学校対抗球技大会は 1 月 26 日、美浜打瀬小で行われ、男子はサッカー、女子はバスケットボールで熱戦が繰り広げられました。

小学生とはいえ、6 年生にもなると体格も気合いも、もう中学生なみ。来年からは同じ中学で同じ部活となる仲間も沢山いると思いますが、この日ばかりは母校の名誉をかけて、優勝目指して頑張ります。

結果は男女とも美浜打瀬小が優勝。くやし涙で大泣きしている女子の姿が印象的でした。来年は中学で頑張ろう



バランスが悪くその場しのぎのような形になっていますが、接合部のデザインをもっと考えればもっと見栄えはよくなったのではないかなどと思っています。

実は LED 灯は 10 年リースという契約で設置されています。つまり 10 年後にはリース契約が解除され、また新しいデザインを選べる可能性があります。現在は技術的に難しかったデザイン性の高い LED 灯にすることも夢ではなくなります。

10 年後のリース見直しのときにはもっといい選択ができるようにしましょう。

【松村】

ベイタウン街灯の LED 化

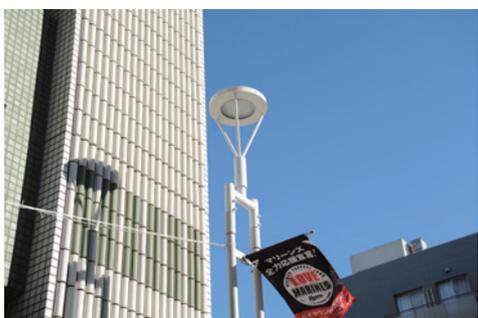
ベイタウン街灯の LED 化がほぼ終わりました。みなさんの周りの街灯はどうですか。「明るくなってよかった」、「電気代下がるのでいいこと」、「デザインは今ひとつ」と様々な意見があると思います。

僕自身とは言えば、非常に気に入っていたプロムナードのモダンな街灯はなんだか取って付けたような安っぽいデザインのものに交換され、非常にがっかりしています。

LED 化の件は千葉市の進め方とそれに対する住民側代表の「ベイタウン協議会 景観委員会」の対応をこれまでも記事にしてお知らせしてきました。どちらも限られ

た時間の中で最善は尽くしたと思います。この件では千葉市側も何度もベイタウンに足を運び、実際の装着実験を夜間に行うなど対応は熱心でした。また住民側の景観委員会も期限ギリギリまでデザイン性を高めるよう努力しました。しかし、やはり実際に置き換えられてみると、何故こんなことに気がつかなかったのかということもいくつかあります。

例えば検討の時には LED 灯自体の形状はずいぶん注意を払われましたが、既存のポールとのバランスや接合部分の形にはあまり注意していませんでした。プロムナードの街灯などは現在のポールと LED 灯の



(写真上左) 新しくなったプロムナードの LED 灯、右は 7/8/9/10 番街路地の LED 灯

幕張総合高校合唱団 第20回定期演奏会のご案内

毎年ベイタウン・コアフェスタに出演させていただいている幕張総合高校合唱団です。千葉県文化会館大ホールでの定期演奏会を聴きにいらっしゃいませんか？今年度は1st Stage 17世紀の作品、2nd Stage 鷹羽弘晃の世界をテーマに構成いたしました。3学年揃っての大ホールでの演奏はコア音楽ホールとはまた違った響きで皆様に感動をお届けします。20回の記念の演奏会ということで卒業生も一緒に歌うステージもあり、部員一同はりきって練習に励んでおります。コアフェスタにいらしてくださった方も、これまでお聴きになったことのない方も是非聴きにいらしてください。

日時：2016年3月24日（木）開場 17:15 開演 18:00
場所：千葉県文化会館大ホール（千葉都市モノレール県庁前駅より徒歩10分）

入場料：S席 1,000円 A席 900円 B席 800円 [全席指定]
(当日券は+100円となります。)

前売り券販売方法

○電話販売 090-6532-3776 2/5（金）～3/11（金）19:00～21:00

○インターネット販売 下記HPの注文フォームにて申し込み
2/5（金）～3/11（金）最終日 23:59まで

詳しくはHP：<http://makusoh-chorus.sub.jp> をご覧ください。

マレーシア高校生ホストファミリー大募集

4月22日（土）23日（日）の1泊2日のホームステイを受け入れてみませんか？明るくて子供好きな学生さん達です。異文化交流を体験できます。

★事前ホストファミリー説明会

やってみたいけど不安ある方、興味ある方は是非ご参加してみてください。

2月27日（土）10:30～11:30 ベイタウンコア
詳しくは <http://makupo.chiba.jp/article/article-1297/>
お問い合わせ baytownwomen@gmail.com（担当中）

幕張海浜公園の梅林

幕張海浜公園の梅が見頃を迎えています。この記事を書いている1月26日は写真の通り、まだ三分咲きというところかと思いますが、この号が発行される2月はじめにはきっと見頃を迎えているでしょう。今年は暖かかったせいか少し早いようです。昨年は2月末が満開だったようなので、1週間から10日ほどは早いかも知れません。楽しみにしている方、例年より少し早めに行かれるといいでしょう。



2月のコア・イベント

2月20日（土）わくわくおはなし会 2月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 2月の常設おはなし会

日時：2月20日 第3土曜日 10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももせひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

2月27日（土）寺子屋工作ランド

「紙コマ」をつくろう

日時：2月27日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

工作用紙5枚をはりあわせたコマです。きれいな模様をつけます。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、クレヨン

参加費：50円（保険料）

第146回ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

第146回ファツィオリの会

日時：2月28日（日）9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：2月21日（日）

申込先：043-276-1428（下口）まで

ベイタウンニュース全号が本になりました

ベイタウンニュースのこれまで18年分の全号を合本した本ができました。昨年行った「年表制作委員会」からベイタウンニュース編集局に贈られたもので、これまで発行されたベイタウンニュースのすべての号がA4大の本に収められています。1000ページを超える内容でとても1冊には収まりきらず、3巻に分けての合本となりました。

制作部数は8部のみの限定で、皆様に配布するだけの部数はありませんが、打瀬図書館とセンターにもそれぞれ1部ずつ置いてありますのでご覧ください。残りは中学校、そして小学校の「ベイ社研」（ベイタウン3小学校の社会科の先生でつくる研究会）に街の歴史調べの授業などに使っていただければと寄贈しました。

